

2025 新高1 リードアップ内部生用 進級案内

高校部進級と 高校スタートダッシュ講座

新高1生は3月13日(木)からスタートをします。

3月中は『高校スタートダッシュ講座』と題して、主要科目であり、かつ中学で得意だった生徒でも高校でつまずいてしまう生徒が多い、英語・数学の先取学習を行います。

5月に行われる第1回の定期考査の範囲を3月中に半分以上終わらせ、4月以降に演習を始めるための準備をします。学年上位の生徒と同じスケジュール感で学習を進められます！

《高校生が塾を活用するメリット》

1. **学校の授業が復習になるので、学習内容が完全定着する！**
2. **だから、学校の課題も短時間で終わらせることができる。**
3. **定期テスト前に慌てて勉強しなくても高得点がとれる。**
4. **テスト前は他の科目に勉強時間を割けるので、総合成績でも上位が狙える！**
5. **その結果、指定校推薦も視野にいれることができる！**

《高校部進級までと進級後の流れ》

- ① 『高校部進級&高校スタートダッシュ講座お申込みフォーム（紙面右下のQRコード）』、あるいは『保護者様からメール』にて高校部進級の申し込み連絡をお願いいたします。
- ② 3/13(木)から高校スタートダッシュ講座で高校の学習を開始
- ③ 3月中に、4月以降のコース（全科目 or 2科目 or 1科目）を決定していただきます。
※コース選択についてのご相談は随時受付いたしますので、ご相談ください。
※初回費用(4月分費用)については、銀行振込にてお支払いいただきます。5月以降は中学時同様に口座振替にてお支払いいただきます。
- ④ 4月からは高校の進度・テスト範囲に合わせた学校別・個別カリキュラムでの学習を開始します。

《高校部進級お申し込み方法》

右のQRコードを読み取り『高校部進級&高校スタートダッシュ講座お申込みフォーム』に必要事項を入力して送信してください。

あるいは『保護者様からのメール』でも承ります。



申込締切

2025年3月10日(月)19:00 迄

今すぐ申込できます

- **新高1生の定員は、外部生含め先着順で最大でも10名となる見込みです。** 昨年末時点ですでに外部の方からもお問い合わせをいただいておりますので、高校部進級をお考えの方は、お早めにご連絡ください。

≪2025年度の高1生の指導科目・コース≫

	大学受験コース	科目授業コース	
	全科目指導	スタンダードプラン(2科目)	ライトプラン(1科目)
指導科目	無制限	英語・数学	英語 or 数学から選択
通塾目安	月16回～	月12～16回	月4～8回
個別カリキュラム	全科目作成	受講科目	受講科目
自習室利用	毎日利用可能	毎日利用可能	毎日利用可能
質問対応	回数無制限(全科目OK)	回数無制限(全科目OK)	回数無制限(全科目OK)
おすすめの人	<ul style="list-style-type: none"> ・国公立大学に進学したいと考えている生徒 ・理系志望予定の生徒 ・全科目の指導をしてほしい生徒 ・定期テストに向けて英語数学だけでなく、理科社会なども対策をしたい生徒 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学進学を見据えた学習習慣をつくりたい生徒 ・定期テストに向けて主要科目である英語数学の対策をしたい生徒 	<ul style="list-style-type: none"> ・最低限の学習習慣を維持したい生徒 ・苦手科目の克服をしたい生徒 ・得意科目を伸ばしたい1つづくりたい生徒
月謝 (通常月)	44,800円/月 (税込49,280円/月)	36,300円/月 (税込39,930円/月)	27,200円/月 (税込29,920円/月)
参考 (昨年度の比率)	75%	25%	0%

≪参考:他の塾・予備校との比較≫

	リードアップ	個別指導塾	映像授業予備校	集団授業予備校
指導科目	全科目指導 料金は変わりません!	有料で追加可能	有料で科目・講座ごとに購入	有料で科目・講座ごとに購入
カリキュラム	合格逆算個別カリキュラム 授業以外の演習も組み込まれた「合格する実力が身につく」全科目個別カリキュラム	科目別のカリキュラム	科目別の映像授業の受講カリキュラム	科目別の集団授業の時間割
学習管理	週間個別面談 プロ講師が毎週個別面談を実施	—	チューター(アルバイト学生)が複数名の生徒といっぺんに進捗確認	—
質問・サポート体制	教室でいつでも可能 & 24時間LINE相談可能	授業中のみ	校舎でチューターに質問可能 or FAX等に対応	授業の合間に質問可能
料金	月謝制 約4.9万円~/全科目&通い放題 ※高1生は約2.9万円～	週1回(80～90分)～から選択 (相場:2.5万～3.5万円/週1)	講座ごとに購入 (相場:7.7万円~/1講座) ※1講座は90分×20回	講座ごとに購入 (相場:16.5万円~/週1(年間))

高校からリードアップにご入塾いただく方は、ほぼ全員がリードアップに来る前に他の塾を検討(体験)されています。そんな方々から聞いた「リードアップを選んだ理由」の生の声をご紹介します。高校部進級や今後の塾選びのご参考になさってください。

【保護者目線】	【生徒目線】
<ul style="list-style-type: none"> ● 全科目指導してくれて、料金固定で、明確なカリキュラム(他の塾は必要なものをすべて取ると高額になる) ● チェックする先生が大学生アルバイトではなくプロの先生(大手は近所の1,2学年上の子たちがチューターなので、指導の経験値や受験知識が全然違うと思った) ● 保護者からも、先生に直接質問や相談ができる(入塾前にどんな質問に対しても親身で明確な返答をくれた) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 質問にすべて即答してくれた(大手映像授業予備校は質問した時にすぐに答えてくれなかった(答えられなかった)) ● ブースが広い(映像授業予備校はもっと狭かった) ● 固定席で、置き勉強もできるのがかなり便利 ● 映像授業予備校は受講予約が必要で、ブースを使える(授業を見れる)時間に制限がある。自習室も混んでいた ● 大手は営業がグイグイですごかった…

【塾・予備校の選び方について】

*ちなみに山田は高校生当時、親に頼んで高1の3月から稲毛海岸駅の東進ハイスクールに通わせてもらいました。(松田先生も、山田の兄(東大現役合格)も同じく稲毛海岸の東進に通ってました)

*当時は映像授業が駆け出しの時代で、この地域の部活生はそもそもの選択肢が東進一択でした。

- **塾は家から近ければ近いほうが良いです。**高校の勉強で結果を出すこと、ひいては大学受験は、**時間との勝負**です。大学受験はとにかく時間が足りません。部活生ならなおさらです。移動に片道20分も30分もかけてる場合じゃありません。
- **大手に行けば同じ高校の友だちがたくさんいます。**例えば稲毛海岸駅の東進やマナビスなら稲毛高や千葉西高の生徒がそれぞれ30~60人くらいいますし、海浜幕張駅なら幕総生が50~100人います。
- **東進やマナビスは1~3個上の先輩がチューターになるので、年が近いのでおしゃべりするならそちらの方が楽しいと思います。**(山田が高3になったときのチューターは、部活の1個上の先輩でした)
⇒山田は東進のグループ面談(チューターと生徒5名ほどで毎週行う進捗確認面談)が大変苦痛でした(笑)。30分~長いと50分ほどで、時間の大半がダラダラ雑談...というのが実状でした。
- ちなみに、これら**大手映像授業予備校に高2冬~高3に入塾すると、年間約120万ほどかかります。**だいたい初動に60~80万、夏に20万、秋冬に「●●大学対策講座」「直前対策講座」と銘打ったものに20~30万。多くの人が大学合格に向けて授業を受ける以外に何をすればいいかわからず、みなさん授業をガッツリ取っている(購入している)ということです。
- **映像授業予備校は「映像授業の受講カリキュラム」を作成してくれます。**それらを受け終わる頃に(次の授業の営業が来て)、「**結局自分で参考書をやらなければ実力が身に付かない**」ことに気づき、**独学に戻ります。**友だちや先輩にお勧めの参考書を聞き、それをやり始めますが「**自分はこれをやれば本当に合格できるのか?この参考書が最適なのか?**」と不安になり...というループに入り(山田もまさにこれでした)、多くの生徒が**時間切れで受験を迎えます。****この問題を解決したのがリードアップの「演習込みの全科目個別カリキュラム」です。**

【高1から塾に通う必要・通うメリットは本当にあるのか?】

- ✓ 日東駒専・GMARCHなどの名の知れている大学(=有名大学)、または自分の進学する高校の実力以上の大学に進学したい
- ✓ 指定校推薦や公募推薦、総合型選抜などの一般入試以外での大学合格も選択肢に入りたい
- ✓ 将来、経済的に少しでも裕福に暮らしたい、少なくともその可能性を高めたい

このように考えている人は「**絶対塾に通ったほうが良い、それも早ければ早いほど良い**」と思います。

下の表は、各大学群のレベル感と「合格に必要なと言われている勉強時間」「大学別年収ランキング」です。

大学群	偏差値(文系)	高校受験に置き換えた場合のイメージ	合格に必要な勉強時間	大学別年収ランキング
早慶(上理)	62.5~70.0	昭和秀英~渋幕	3000~4000時間	【慶応義塾】4位 999万円 【早稲田】6位 920万円
(G)MARCH	55.0~65.0	日習~昭和秀英	2500~3000時間	【明治】22位 782万円 【青山学院】25位 768万円 【立教】29位 725万円 【中央】15位 829万円 【法政】30位 720万円 【学習院】25位 768万円
日東駒専	42.5~57.5	~幕総・船橋東 (~Vもぎ偏差値60)	1800~2000時間	全大学31位以下のため掲載無し
【国立】千葉大	57.5~60.0	千葉東		【千葉】18位 793万円 おまけ【東大】1位 1072万円

※ 偏差値は河合塾HP参照

※ 理系は合格に必要な勉強時間+500~1000時間が必要

※ 大学別年収ランキングは日経転職版大卒年収調査2022年版を参照、小数点以下は切り捨て

例えば GMARCH(文系)に 2500 時間の勉強が必要として、逆算してみると、

- 高1の4月から受験勉強を始める場合 : 「17時間/週」 = 「2時間30分/日」
- 高2の4月から受験勉強を始める場合 : 「26時間/週」 = 「3時間15分/日」
- 高2の11月から受験勉強を始める場合 : 「39時間/週」 = 「5時間35分/日」

が必要になります。ここでの勉強時間は学校の授業時間は除きます。また知識ゼロスタートの計算なので、実際はこの計算より短く済むはずですが、それでも「**大学受験は甘くない**」ことが分かるはずですよ。

部活生にとって1日3時間以上勉強するというのは、基本的に不可能です(部活は基本毎日19時過ぎまであります)。つまり「**高2から受験勉強を意識し始めたのでは、難関大学合格には間に合わない可能性が高い**」ということです。一方で「**高1からしっかり積み上げていくことで難関大学合格は十分可能である**」ともいえます。

だから勉強は「**早く始めたほうが良いに決まっている**」んです。

また、年収調査を行っている企業はいくつもありますが、どの調査でも・何年経っても「**学歴=収入**」という構図は変わっていません。お金のために勉強するわけではありませんが、**大学ランクが1つ違うと年収150~200万の差が生まれます**。40年働くとすると、単純計算150万円×40年=6000万円。2ランク違えば**1億2000万円**。教育にはこれほどの価値があります。高校生であるあなたの勉強にはこれほどの価値があります。当然、お金以外にも得られるものが多くあります。

ですので、**高1から塾に通うメリットは計り知れないほどある**といえます。

《スタートダッシュ講座の概要》

受講料 ~~15,400円~~ ⇒ **無料(内部生限定特典適用)**

※ 高校部に進級せずに「高校スタートダッシュ講座」のみ受講も可能です。その場合は通常料金15,400円がかかります。

講座内容 1講座は「およそ50~90分の授業+演習」×5日間(英語2日・数学3日)

	【講座名】	【内容】	【授業】	【演習】	【対象者】	【日程】
英語	ベーシック英文法× ベーシックレベル演習	文の種類 ／文型／ 自動詞と 他動詞／ 時制(基本 時制)	どちらの講座も授業は共通です。英文法の基礎固めをし、その後の勉強がスムーズになり、定期テストでの高得点も容易になります。	易から難へ配列された問題をこなすことにより、基礎力から応用力まで養成します。教科書基礎～共通テストレベルの文法力を身につけます。	基礎力を固めて英語を得意にしたい生徒	3/17(月)15時～
	ベーシック英文法× スタンダードレベル演習			易から難へ配列された問題をこなすことにより、基礎力から応用力まで養成します。教科書標準・共通テスト～中堅私大レベルの文法力を身につけます。	公立高校入試英語で80点以上取れ、高校でも英語を得意にしたい生徒	3/24(月)15時～
数学	高校数学IA	展開/ 因数分解	教科書例題レベルの解説授業で学校の予習をします。予習を継続することが定期テスト高得点につながります。	教科書レベルの多くの問題パターンをこなし、万全の定期テスト対策を行います。	基礎力を固めて数学を得意にしたい生徒	3/13(木)15時～
	大学受験数学IA (LUS-BASIC講座)		共通テストで満点を取るために必要な基礎知識・公式を初学習前提で解説。思考力や論証力・記述力も養います。	教科書レベルの問題に加え、実力を養成する多角的な混合問題にも取り組みます。	理系選択予定の生徒/文系で一般入試で数学を受験科目とする生徒	3/20(木)15時～ 3/27(木)15時～

- 1日の所要時間は「40~80分授業」+「演習5~30分」ほどとなります。※所要時間に幅があるのは生徒一人ひとりの学習速度によるためです。
- 日程の都合がつかない場合は、別の日時に振替が可能です。ご相談ください。(中3生時同様に、生徒からのLINEで日程調整可能です)
- 高校スタートダッシュ講座には参加せず、4月から通塾開始も可能です。その場合、4月から上記内容の学習を開始します。※3月は費用が一切かかりませんので、基本的には3月開始をおすすめします。

リードアップの高校部は1人に1席、個別ブースを「専用席」として確保しており、自習室としても利用し放題です。3月中は春休みも長く、高校から入学前の課題も多く出されますので、ぜひ塾を最大限活用してください。

